



ソーシャルスキルトレーニング絵カード

連続絵カード

幼年版 場面の認知(危険回避と約束事)

A 5 版 44 枚(2 枚組×22)

1	<p>「ブランコに乗ろう！」 揺れているブランコは、危ないです。ぶつかって、怪我をするかもしれません。</p>
2	<p>「ボールを蹴ろう！」 人がいる方に向かって蹴ると、危ないです。そこにいる子たちに、ボールが当たってしまうかもしれません。</p>
3	<p>「ここに座ろう！」 窓の敷居は、細すぎて危ないです。落ちて、怪我をするかもしれません。</p>
4	<p>「そこにキラキラ光るものがある」「見てみよう！」 そこは、自動車の通り道です。危ないです。走ってきた自動車にぶつかると、怪我をします。</p>
5	<p>「棒があった」「振り回すと面白い！」 長い棒は、振り回すと危ないです。周りにいる子に、当たってしまうかもしれません。自分も、怪我をするかもしれません。</p>
6	<p>「お友達と一緒に散歩は、楽しいな」 歩いていく方を見ていないと、危ないです。ぶつかって、怪我をするかもしれません。</p>
7	<p>「自転車をみつけた」「車輪をまわすと面白い！」 指を挟むと、危ないです。怪我をするかもしれません。</p>
8	<p>「あ、そうだ！ あっちへ戻ろう！」 急に向きを変えて走ると、危ないです。後ろにいた子が、避けられないで、ぶつかってしまうかもしれません。</p>
9	<p>「何があるかな。下を見てみよう！」 のぞき込むと、危ないです。落ちて、怪我をしてしまうかもしれません。</p>
10	<p>「ぼく、そこで遊ぶ！」 ジャングルジムの上で、人を押すと危ないです。落ちて、大怪我をしてしまうかもしれません。</p>
11	<p>「砂の上を歩くのは面白い！」「スコップでどンドン掘ろう！」 良く見て歩かないと、危ないです。砂に隠れている友達の手を、踏んでしまうかもしれません。また、勢いよく砂をとばすと、危ないです。友達目に入って目が痛くなったり、口に入ってしまったら、するかもしれません。</p>
12	<p>「どうしてお昼寝をするの?」「お昼寝なんかしたくない！」 ここに居る子たちを、見てください。この子が騒いでいるので、眠れないようです。園の生活には、時間の区切りがあります。今は、お昼寝の時間なのです。 *お昼寝をすると、疲れがとれて元気が出ます。眠れなくても、静かに寝転んでいるだけでも良いのです。どうしても静かにすることが難しいときは、先生に相談します。</p>
13	<p>「トイレに行こう！」 この子たちを、見てください。この子たちもトイレに行きたいので、並んで順番を待っています。 *トイレには、一人ずつしか入れません。我慢ができる人は、順番に並んで待ちます。</p>
14	<p>「おなかですいたから食べよう！」 この子の、周りの子を見てください。まだ、誰も食べ始めていません。早く食べたいと思っている子も「いただきます」の挨拶まで待っているのです。園の生活には、時間の区切りがあります。今は、食べるのを待つ時間なのです。 *みんなの準備ができてから、「いただきます」の挨拶をして食べ始めます。</p>

15	<p>「いっぱい集めた！ これで作ろう！」</p> <p>この子の、周りの子を見てください。この子が一人で沢山使っているのも、おもちゃが足りなくて、困っている子がいます。ここにあるおもちゃは、みんなで使う物です。</p> <p>*どの子も、使いたいおもちゃがあります。友達と遊ぶときには「これ、使って良い？」と聞いたり「あとで代わってね」と頼んだりして使います。</p>
16	<p>「よく見えないから、前に行って見よう！」</p> <p>この子の、後ろにいる子たちを見てください。この子が立っているのも、紙芝居が見えなくて困っているようです。今は、みんなで一つの紙芝居を見えています。</p> <p>*どの子も、しっかり見たいのです。紙芝居は自分の場所で、座って見ます。</p>
17	<p>「大急ぎ、大急ぎ！」</p> <p>脱ぎっぱなしだった靴が、無くなっています。靴は、踏まれたり蹴られたりして、どこかに行ってしまったのかもしれませんが。</p> <p>*脱いだ靴は、靴箱に入れます。靴箱に入れておくと、履くときにも自分の靴が良くわかります。</p>
18	<p>「あっ、きれいな色のボールを見つけた！」</p> <p>危ないです。ぶつかってしまい、痛くて泣いている子もいます。</p> <p>*周りを見て、気をつけて歩きます。</p>
19	<p>「うんうん、この本、面白い！」</p> <p>周りには、使った物が散らかったままでした。このロッカーの中も、整頓できていません。</p> <p>*遊び終わったおもちゃは、元の場所に片付けます。そうすれば、次に遊ぶときに探さなくて済みます。</p>
20	<p>「あっちに行ってみよう！」</p> <p>お母さんがそばにいません。お母さんから離れて、一人になったら危ないです。お母さんは今、一生懸命にこの子を探しています。</p> <p>*お母さん（行動を共にしている大人の人）と一緒に歩きます。</p>
21	<p>「この本、面白い！」</p> <p>この子の周りを見てください。もう本を読む時間は、終わっています。園の生活には、時間の区切りがあります。今はお帰りの時間です。</p> <p>*場面の切り替えの難しい子には、あらかじめ終わりの時間、予定などを提示しておくことが不可欠です。</p>
22	<p>「このひもを引っ張ってみよう！」</p> <p>危ないです。紐を引っ張ったら、箱が落ちてくることもあります。落ちてきたら、怪我をするかもしれません。</p> <p>*これを教える前に、子どもたちの興味をひくものは、あらかじめ片づけておくことが大事です。</p>